

千葉県税理士会柏支部支部長賞

為替介入と税金の関係性

我孫子市立白山中学校 第三学年 那須野 悠

最近、円安で二〇二四年四月二十九日、一時一ドル一六〇円台になった。しかし、その日のうちに日本銀行が為替介入をしたため、一五五円台まで円高になった。また、後日、為替介入したお金は税金からのものだったということを知り、税金と為替介入の関係に疑問を持ち調べてみた。

まず、為替介入というのは、単純に税金から出ているわけではない。ただ、無関係でもない。ただ、為替介入というのは、国、政府が外国と取り引きをした際、ドルやユーロといった海外通貨を得て、それを蓄えておいたり、政府短期証券（F B）と呼ばれるものを発行することにより、円資金を調達しドルを買い保管したりして資金を確保している。実際には、政府短期証券が発行されると日本銀行にあるお金や日本政府が集めた税金、国の予算から引いている。集めた税金というのは大企業などから集めた所得税や住民税といったものが大半だ。中には、最近日銀がマイナス金利政策を廃止にしたことによる、国民の預金や、各銀行内の余金を回収したお金などもある。

また、マイナス金利政策とは、日本銀行内にある各銀行の預金にマイナスの金利をつけるというものだ。それにより、各銀行は日本銀行に預けていたら損になるため、企業や個人にたくさんお金を貸し、そうすることにより、日本経済を良い方向へ傾けようとした、実は苦肉の策だった。

実際、為替介入で一円円高にするのに約一兆円相当のドルが必要になる。そんな中、日本が蓄えてきた為替介入に使えるお金は約一九億円とかぎりがあり、早急な日本政府による政府短期証券を発行し回収が必要。そして、何より重要なのは、我々国民の理解だということだ。

今回、為替介入という物価に関するものと税金の関わりについて調べてみた結果、為替介入はあくまでも税金の一つの使い道でしかないけど、財務省の税金使用内訳の総額が他の先進国より少なく、当然為替介入に使える税金もかぎられてくるので、今後、将来滞納だけはしないようにしようと思つた。その一回のたかが滞納かもしれないが、結局は、為替介入をはじめとする国や自治体の公共事業に使われ、回りめぐって自分のためになるのだから。また、今回思つたのは、財務省の国の税金の内訳の中に非公開というものがあり、調べてみたら、議員などのお金が含まれているということだ。自分たちの税金なのになぜ公開されないと疑問に思い、中々税金を納めないうという人が減らないという課題も思いました。僕は、税金が公開され、何に使われているのか確認するということをしてほしいと思つた。